

令和2年度
第1回動物由来感染症検討会 会議録

議題1（令和元年度動物由来感染症調査実施結果）について

（1）第一種動物取扱業における動物由来感染症調査結果

資料1-1「令和元年度第一種動物取扱業（種別「販売」）における動物由来感染症調査結果」

資料1-2「令和元年度第一種動物取扱業（種別「展示」）における動物由来感染症調査結果」

	御意見	事務局回答
今岡 浩一	<p>資料1-1 表2施設別飼養管理状況調査結果：管理動物数の、その他について、もう少し具体的に説明していただいた方が良いと思います。犬・猫の健康状態に影響を与える（共通感染症病原体を持つことがある）可能性があるもので、個体数を67などと記入するのではなく（数字は不要で、備考欄でも良いので）、「そのほかに、小型哺乳類、鳥類、を販売用に飼養」などと記載していただければと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>資料1-2 図1治療経過：除菌確認プログラムでは「投与後、連続2回の再検査で病原体を検出しないこと」となっていますが、1匹のヒツジについては、投与後の初回に陽性となっています。2回目は陰性ですが、「連続2回病原体を検出しないこと」の規定にあっていないのではないのでしょうか。</p>	<p>資料1-1 その他の管理動物の飼養管理状況については、動物由来感染症の調査に有用と考えます。御指摘いただいた点について今後の参考にさせていただきます。</p> <p>資料1-2 病原体陽性であった動物については、「動物展示施設における人と動物の共通感染症対策ガイドライン2003 追補版 ふれあい動物施設等における衛生管理に関するガイドライン」に基づき、動物園の自主管理措置として対応しています。 A動物園の当該ヒツジについては、再検査の結果を受けて治療の継続及び再々検査の提案をしたところ、動物園側から、以降はかかりつけ獣医師の指示のもと対応していく旨申し出を受けました。動物園側の意思を尊重し、動物の飼養管理・健康管理の徹底を助言した上で対応終了といたしました。</p>
佐藤 克	<p>資料1-1 エルシニア陽性犬の除菌に使用した抗生物質名をご教示ください。16日間というのはどのような根拠に基づくのでしょうか。</p>	<p>使用した抗生物質はフラジール（一般名：メトロニダゾール）です。投与期間については、ペットショップのかかりつけ獣医師の指示によるものです。</p>
中村 ふくみ	特になし	
源 真希	特になし	

(2) 動物病院における動物由来感染症モニタリング事業結果

資料2 「令和元年度動物病院における動物由来感染症モニタリング事業結果」

御意見		事務局回答
今岡 浩一	特にありません。	
佐藤 克		
中村 ふくみ	特になし	
源 真希	特になし	

(3) 動物愛護相談センター動物由来感染症調査結果

資料3 「令和元年度動物愛護相談センター動物由来感染症調査結果」

御意見		事務局回答
今岡 浩一	特にありません。	
佐藤 克	静岡県でSFTS陽性猫が見つかりました。関東も時間の問題かもしれませんので、SFTS検査の充実を図った方がいいと思います。	今後の参考にさせていただきます。
中村 ふくみ	特になし	
源 真希	特になし	

(4) 狂犬病調査結果

資料4 「令和元年度狂犬病調査結果」

御意見		事務局回答
今岡 浩一	特にありません。	
佐藤 克	そろそろ野生動物のモニタリング調査を充実させるべきでしょう。	今後の参考にさせていただきます。
中村 ふくみ	特になし	
源 真希	特になし	

2 議題2（令和2年度動物由来感染症調査計画）について （1）動物取扱業における動物由来感染症調査計画 資料5「令和2年度動物取扱業における動物由来感染症調査計画」		
	御意見	事務局回答
今岡 浩一	特にありません。	
佐藤 克	フクロウやハリネズミなどの野生動物と触れ合うカフェが気になります。	
中村 ふくみ	ふれあい展示に用いられている動物の調査に、クリプトスポリジウムを加えてはいかがでしょうか。過去に体験農場で牛とふれあい、小学生のクリプトスポリジウム症の集団発生事例が報告されています。	今後の参考にさせていただきます。
源 真希	特になし	

令和2年度
第1回動物由来感染症検討会 会議録

資料6 「令和2年度動物病院における動物由来感染症モニタリング事業計画」		
	御意見	事務局回答
今岡 浩一	SFTS: 口腔スワブは検出率があまりよくありません。血清を用いた方が良いと思います。その他血液検査のために採取したときに、その血清を一部流用するとか、採血の了承を取って行うとか、方法はあります。調査として有意義な結果が得られる方が良いのではないのでしょうか。	今年度はまず検査体制づくりを行うことを目的として、侵襲性が低く採材しやすい口腔スワブを検体といたしました。いただいた御意見を参考に、血清の使用等について今後検討していきます。
佐藤 克		
中村 ふくみ	SFTSの調査が含まれているのは良いと思います。	
源 真希		

(3) 動物愛護相談センター動物由来感染症調査計画

資料7 「令和2年度動物愛護相談センター動物由来感染症調査計画」

御意見		事務局回答
今岡 浩一	特にありません。	
佐藤 克		
中村 ふくみ	SFTSの調査が含まれているのは良いと思います。	
源 真希	特になし	

(4) 狂犬病調査 資料8「令和2年度狂犬病調査計画」		
御意見		事務局回答
今岡 浩一	特にありません。	
佐藤 克	咬傷事故の届出においては咬傷を起こした犬の鑑定をしています。この結果を示すことも大切な狂犬病の調査となります。	今後の参考にさせていただきます。
中村 ふくみ	特になし	
源 真希	特になし	

令和2年度
第1回動物由来感染症検討会 会議録

3 その他

(令和2年度第2回東京都動物由来感染症検討会の開催時期、開催方法、その他、資料等について)

御意見		事務局回答
今岡 浩一	Webでも資料でもいずれでも結構です。	
佐藤 克	COVID-19の様子にもよりますが、オンライン会議開催が望ましいと思います。	
中村 ふくみ	特になし	
源 真希	ZOOMでもWebexでも参加可能です	